

**1 伊藤 宏実 議員（政友会） 【一問一答】**

(1) プラスチック使用製品廃棄物に係る一括回収について

- ・本市が一括回収を行うに至った経緯や、本市がこの4月からスタートすることになった背景について説明を求める。また、プラ製品の一括回収の具体的な中身について、改めて説明をお願いしたい。
- ・今回の一括回収について、市民が十分に理解しているか、または周知が十分か問いたい。
- ・今後、さらに市民への理解を促進し周知を進めていくための方策としてどのようなことを考えているか。具体的に説明願いたい。
- ・学校において、児童・生徒の環境教育を充実させ、そこから各家庭へ浸透させることも有効と考えるがどうか。
- ・昨年12月に、大関小学校の児童から「ポイ捨てごみ及びプラスチックごみを削減するための子供とつくる環境を守る条例（案）」の提言を市長は受け取っているが、実現に向けての考えを問う。

**2 佐藤 岳之 議員（創政会） 【一問一答】**

(1) 農業分野にも万が一の備えを

- ・自然災害等のリスクに対する農業者の意識を高めるために、農業版BCP策定が必要と考えるが、本市の見解を伺う。
- ・農業者は、経営安定を図るため、自然災害等のリスクに対して、農業保険（農業共済・収入保険）に加入するなどの備えが重要であると考え、本市の見解を伺う。
- ・令和5年4月の改正農業経営基盤強化促進法の施行により、人・農地プランを法定化した地域計画を令和7年3月末までに策定する必要があるが、本市としての取組を伺う。

**3 山田 秀樹 議員（創政会） 【一問一答】**

(1) 災害対策について

- ・指定緊急避難場所として、本市では市内の小中学校等大規模施設で複合災害に対応できる場所を指定している。それらの施設で屋外トイレがない場所はどこか。
- ・災害の規模などにより指定緊急避難場所の建物が開場されないことも想定される。避難者のための屋外トイレの整備が必要ではないか。
- ・避難マニュアルによると地震の場合の指定緊急避難場所は小中学校等グラウンドとなっているが、現地での案内や指示がなく、グラウンドが活用されなかったところがあった。周知徹底もしくは現地案内板が必要ではないか。

(2) 飼い主のいない猫について

- ・福井県は飼い主のいない猫の保護活動では全国トップクラスであり殺処分頭数ゼロを実現している。第3次福井県動物愛護推進計画では、市町は動物の飼育に対する地域住民の理解を促進していく重要な役割があるとしているが、本市の所見を伺う。

- ・福井県は獣医師会による「飼い主のいない猫の不妊手術支援事業」をベースに、不妊手術助成事業を行う市町の拡大を図るとしているが、本市の対応は。
- ・飼い主のいない猫の保護活動を行っている市民ボランティアへの支援について伺う。

#### 4 後藤 寿和 議員（志政会） 【一問一答】

##### (1) 放置自転車対策に条例制定を

- ・市内の公共施設や路上などの放置自転車の状況は。
- ・他自治体では条例を制定して自転車の管理や放置自転車に対する定義を制定しているが、本市も公共施設や路上なども含む自転車の放置防止等の条例を制定して放置自転車等の対策を提案する。

##### (2) 二次交通の一つとしてシェアサイクルの導入を

- ・シェアサイクルを導入することで二次交通問題や環境問題、また健康増進にもつながると考えるが、本市の所見として、シェアサイクルを導入することで期待される効果をどのように捉えているのか。
- ・本市の主要駅や観光地などにシェアサイクルの導入を提案する。

#### 5 鍋嶋 邦広 議員（創政会） 【一問一答】

##### (1) 令和6年能登半島地震発生時における、本市災害対策の総括と、今後の避難所としての安全性強化や自主防災に関する取組について

- ・本年1月1日の能登半島地震発生時において、本市災害対策本部として、立ち上げのタイミング含め、終結まで十分に機能できたと考えるか、災害対応全般の総括を求める。
- ・津波警報が発令された、三国地区における避難誘導及び避難所開設、避難所運営についてはどうであったか、詳しい報告を求める。
- ・避難場所と各避難所の区別・すみ分けが市民の皆さんの間でも曖昧になっていたように思われるが、本市としてどのように捉えているか、所見を伺う。
- ・各避難所における安全対策として、窓ガラスの飛散防止フィルムは貼られているか伺う。
- ・震度6以上の地震が発生した場合の市内各避難所の安全性は担保されているか伺う。
- ・新たに作成予定の津波ハザードマップの今後の活用方法について、どのように考えているか、本市の所見を伺う。
- ・令和6年度は、能登半島地震を教訓に地域防災計画とそれに基づく自主防災組織の強化と活動に対するさらなる支援が重要と思うが、本市の所見を伺う。
- ・地区によっては、近くにある県の施設について指定緊急避難場所として活用できないか、県の方にも打診してみてもどうか、市の見解を伺う。

##### (2) スポーツツーリズムの促進（スポーツチーム体験交流事業及びスポーツ合宿誘致事業強化）について

- ・過去10年間のスポーツチーム体験交流事業やスポーツ合宿誘致事業の実績は、どのようになっているか、地域経済への波及効果含め報告を求める。
- ・三国運動公園・丸岡スポーツランドの稼働状況と施設管理状況（特に経年劣化等に

よる危険箇所、毀損箇所の有無)の報告を求める。

- ・最近のスポーツ合宿誘致活動に関する本市の取組状況について伺う。
- ・丸岡スポーツランド宿泊施設の現状と利用状況、運営体制について、並びに宿泊人数実績及び売上と運営コスト・全体収支について伺う。
- ・観光資源・地域資源強化事業の一項目でもある、学生合宿促進事業費補助金の活用状況や利用団体の傾向、トレンド等どのように把握しているか伺う。

## 6 三宅 小百合 議員(政友会) 【一問一答】

### (1) 災害に強いまちづくりを

- ・改めて市民に分かりやすい防災情報の提供を  
洪水、崖崩れ・土石流・地滑り、地震、津波など、災害の種類に応じた避難所、避難ルートなどの情報提供をどのように市民に伝えるのか。
- ・避難ルートの一部見直しについて  
浸水想定区域や土砂災害区域を通過する避難ルートの見直しが必要と考えるがいかがか。
- ・指定避難所の開錠について  
福井市では、地域の方が鍵を持って、災害マニュアルに従って、土日や夜間など、小中学校の体育館などの施設の開錠をしていると聞いているが、本市もそのような見直しが必要だと考えるがいかがか。
- ・ペットの同行避難について本市の考えは。
- ・地域や学校での防災教育の推進を全小学校で取り組んでは。
- ・冬季避難訓練や夜間避難訓練の実施はしないのか。
- ・能登半島の地震時に防災支援拠点として活躍した福井空港について  
福井空港の大規模改修時に、防災支援拠点としても利活用できるように、県に働きかけては。

## 7 永井 純一 議員(公明党) 【一括】

### (1) 防災対策について

- ・能登半島地震の教訓を本市としてどのように受け止め生かしていくのか見解を伺う。
- ・マイタイムライン作成の重要性とそれに基づいた避難訓練を加速的に推進すべきと思うが。
- ・住宅の耐震診断・耐震補強工事なども加速的に推進すべきと思うが、推進策を伺う。
- ・液状化対策について住宅建設、建替の折、土地の地盤改良が必須と思う。液状化が想定される場所は改良の義務付けなどが必要と思うが対策を伺う。

### (2) 健康について

- ・全市民が気軽に短時間で家庭・学校・職場で行えるラジオ体操、マリン体操、新しいものを考えるなどして、市民健康体操を推進してはと思うが見解を伺う。
- ・こどもインフルエンザ予防接種の拡充を決断したように、幅広く市民の命を守るために、带状疱疹ワクチン接種の助成ができないか。
- ・現在、多くの自治体でも使われているが、高齢者が少しでも幸せな気持ちでいられ

るよう、健康を”健幸”と表記してはどうか。

(3) 認知症対策について

- ・本市においても、紙芝居や動画等を作成し、学校やイベントなどで認知症に対する正しい理解と、ちょっとした気遣いの大切さへの認識を深めるための、広報活動を積極的に展開すべきと考えるが、見解を伺う。
- ・認知症の当事者と同じ目線に立って、当事者の気持ちや考えに触れることで、体感として認知症の理解を深めるため、子供たちを対象にした体験学習を取り入れ、偏見をなくす教育環境を整えるべきと考えるが、見解を伺う。
- ・認知症は早期発見と早期治療が重要であると言われている。認知症の可能性を診断できるチェックリストの活用の現状と、気軽にチェックできるさらなる環境整備は非常に有意義と考えるが、見解を伺う。

**8 畑野 麻美子 議員（日本共産党議員団） 【一括】**

(1) 保育士確保、調理師確保、代用教員確保は子育て支援の一環、対策が求められる

- ・幼稚園教諭確保は私立（民間）幼稚園も厳しい。保育士確保対策事業と同様な事業を私立幼稚園にも適用すべきでは。
- ・子供が大好き、子供への情熱だけでは、保育の仕事は成り立たない。保育環境の改善は、子育て支援につながる。以下のことについて伺い、改善を求める。
  - ①一日の保育の流れの中で、保育士の休憩時間はきちんと取れているか。
  - ②保育内容なども含め、コミュニケーションがとれているか。
  - ③令和6年度は登録保育士を募り、代替保育を実施していくとのことであるが、対応できるか。
  - ④保育士の欠勤状況等を市と保育園との間で連絡体制はできているのか。また、保育士不足の現状の中、保育士が欠勤したときの対応はどのようになっているか。
- ・今年は11人が退職し、9人が採用、2人足りない。公立保育園・幼保園・子ども園においては非正規保育士が約半分を占める。働き方は様々である。正規保育士の採用を大幅に増やすべきと考えるがいかがか。市として責任ある保育をすべきである。
- ・学校給食の調理師の正規採用を推進すべきである。なり手不足解消につながる。
- ・「行き届いた教育」を求める保護者の願いと「教員が安心して出産・子育てできる環境整備」と「子どもの教育に臨時はない」との立場で、代替教員の拡充を県に求め、また、本市独自に教員を確保するなどの対策を行い、代替教員の確保に努めること。

(2) 子育て支援は1人目からが大事である。1人目からの支援を求める

- ・子育て支援策、すくすく子育て応援券は3人目に年間5万円が就学前まで6年間毎年支給されており、また、2人目は3万円が就学前まで支給されている。さらに、通学バスは2人目、3人目が無料で1人目だけが有料である。1人目には何もない。子育て支援は1人目から、支援策の見直しが必要と思うが、本市の考えを問う。
- ・すべての0歳児の見守り訪問として、明石市で実施している「おむつ定期便（無料）」を本市も事業化し、育児中の母親のケアにもつなげていってはどうか。